

国立大学に見事

稚大谷高 倍率3倍の宇都宮大 三浦さん

稚内大谷高校3年生
の三浦優希さん(17)が、
気込んだ。

好きになったと回想す
る。

そうした経緯もあり、
公募型の推薦で同大学
を受験。新型コロナウ
イルスの影響から、先
月18日に面接をオンラ
イン形式で行い、自分
の思いを大学関係者に
伝えて見事合格した。

国立の宇都宮大学(国
際学部国際学科)に見
事合格した。大谷高に
よると、公募型の推薦
に申込んで受験(面接
調査書の提出のみ)。
一定の学力等が必要と
され、同様の条件で1
08人が受験。合格し
たのは36人。倍率3倍
の難関を突破した三浦
さんは「合格と聞いた
時は、とても嬉しかった。
大学では多文化共
生についての学びを深
めたい」とさっそく意
気込んだ。

三浦さんは、このキ
ャンプを経験して更に
英語を勉強したい気持
ちが深まった。それと
同時に、国籍や民族な
どの異なる人々が、互
いの社会的・文化的違
いを認め合い、地域社
会の構成員として共に
生きていく事などを言
う「多文化共生」に興
味を持ち、専門的な知
識を学べる宇都宮大へ
の進学を高校2年生の
冬頃から考え始めた

と。大学では多文化共
生についての学びを深
めたい」とさっそく意
気込んだ。

三浦さんはバレー部
に所属(10月に引退)
し、エースとしてチー
ムを牽引。また、国公
立大合格を目指して活
動する進学クラブ「大
谷塾」にも所属してお
り、文武両道の精神で
生活。面接試験の1か
月前からは、大谷塾で
みっちり面接練習に励
んだことで合格を掴み
取った。



宇都宮大学の合格が決まった三浦さん

表面海水温は

高い

稚内水試

稚内水試では、11月
27日、29日に試験調査
船北洋丸で実施した、
日本海定期海洋観測結
果のうち、利尻・礼文

同島を挟んだ8定点の
水温速報値を公表した。
過去5年間の平均水
温をもとに、利礼周辺
の水温環境を評価した。
北側の観測ポイントは
表面水温が8・9度、
10・7度。全層で平均
よりやや高く、平年の
最大差は礼文島北西沖

のポイントの水深60以
で、平年より2・3度
高かった。
一方、南側も表面水
温は10・6度、11・2
度。全層で平年より高
く、平年の最大差は最
も西側のポイントの水
深115層で平年より
3・9度高かった。

大谷塾の木村泰優塾
長は「時には悩みなが
ら面接練習に励んでい
たが、よく合格するこ
とが出来たと思う。彼
女の努力に勝るものは
ない」。中尾忠校長は
「三浦さんはバレー、
勉強も一生懸命に頑張
っていた。今回の結果
に拍手を送りたい」と
結果を残したことをそ
れぞれ称えていた。
三浦さんは、将来的
には国外で働くことも
視野に入れているが
「まず、大学では世界で

抱えている問題を学び、
どのような形でこれら
の問題を解決出来るか
考えたい」と、大学生
活での学びを心待ちに
している。(原拓弥)